
DET・

箋絨谷安曇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DET・

【Nコード】

N6893C

【作者名】

箋絨谷安曇

【あらすじ】

佐々木原嘆樹は中学三年生の少年。毎日毎日、自分が右手にあやしい刻印をもっている女に殺されるおそろしい夢をみる。

第一話＊始まりの夢

この世界には裏と表があるということをおあなたは知っているのですか？

表は…そう、あなたたちが幸せに闇を常闇を知らぬに愚かに暮らしている普通の世界です。

裏は…あなたたち、一般人が知るわけもない「怪^{かい}」と呼ばれる魑魅魍魎がはびこる世界。

あなたたちがのうのと暮らしているのにはね、理由があるのよ。

あなたたちが知らない闇の底で働く人々がいるのよ。

彼は特別な力をもっている、神が授けたとか悪魔が授けたとか地獄の使者だとかいうけれど…

その力は「呪われた手^{デスハンド}」とも呼ばれているわ。

人々はそんな彼らを彼らの努力も知らずにただ陰険に、不気味だという気持ちをこめて

「DET《デット》」と呼ぶわ。

普通の日々。普通の毎日。平凡。そうだ。平凡だ。

佐々木原 嘆樹なげきはいつもと同じようにあの悪夢にうなされて眼を覚ます。

恐ろしい、おぞましい自分が殺される夢。

右手に何か怪しい刻印がしてある髪の毛の長い女が自分を殺しにくる夢だ。

なんて恐ろしい夢だろう。

いつも殺されると思ったその瞬間に目を覚ます。

だから朝は嫌いだ。気分が悪い。ゆっくりと上体をあげ嘆樹は頭をかく。

嘆樹は中学三年生。まあ普通だ。平凡な中学生だ。

とくに秀でたところもなく、頭も運動能力も芸術とか音楽とかたけているものは一つもない。

すべて平均値などにかくなんでも平均な普通の中学生だ。

でも一つだけ。ひとつだけ、そうだ、一つだけ普通じゃないってところがある。

それは彼の両親がお金持ちだったこと。

というか嘆樹の父は有名な医者であり稼ぎもよくそして母は有名な技術者なのだ。

父と母は毎日働いて家にいない。嘆樹ひとりのをのこしてはたらくにいく。

家にいるのはお手伝いさんの田中さんだけだ。

「朝ご飯ですよー！」

田中さんの声がする。

急いで降りていかないと。

嘆樹は今日も「一日」を始めるのだ。

第一話＊始まりの夢（後書き）

はじめまして。箋絨谷安曇^{せんじゅうやあずみ}です。

興味をもって呼んでくださったかた、なんとなく読んでくださったかたありがとうございます^^

これから頑張っていきたいと思います。

自分はいきなりなので続けられるかどうかとても不安ですががんばって続けていきたいと思っています。

それでわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6893c/>

DET・

2010年10月17日05時12分発行